

歩くことは面倒ではない
楽しみでしかない



Yoshi Tokoro

令 和元年を迎え大正、昭和、平成、令和と4世代を生きてきた所よしさんは今年の11月で97歳を迎えます。元気いっぱいのはある日課があります。それは「歩く」こと。今なお、多古町内を元気に歩き続けているよしさんに今回お話を伺いました。

きつかけは実家の見回り

歩 き始めるようになったきつかけは、空き家になってしまった実家の見回りのためでした。実家は多古町農協の裏手の辺りで、車の免許を持っていなかったため、現在の住まいの染井から歩いて家の様子を見に行っていました。ほぼ毎日です。10年ではきかない、少なくとも20年以上は続けていました。また、孫の保育園のお迎えで旧中央保育所（現多古町魅力発信交流館）にも歩いて迎えに行っていたこともありましたね。

今では見回りだけでなく、多古町内の知っている所を回りながら一日中遊んで帰ってきます。毎回、同じコースではなくて、明日はあそこに行こうといった具合で歩くコースを変えたりするんです。雨が降らなければ毎日歩いています。時間帯は特に決めずに歩き



たいと思つた時に歩いています。以前までは道の駅多古やセイミヤ辺りまでとです。昔から運動をやっていたわけでもないんですが、もともと歩くのは好きでした。町中の人たちはみんな知っているかもしれないね、そこら中歩いているから（笑）

毎日歩いていたおかげで

数 カ月前に転んで右膝の皿を割る出血もひどく足が腫れてしまい、薬や鍼での治療を受けました。病院の先生に治るのか聞いたら、ちゃんと治るから大丈夫だよ、と。けがはしっかり治りましたが、この頃から散歩する際は

好き嫌いはたくさんある

シルバーカーを使うようになりました。病院の先生からは、「この歳でけがをしたら、普通の人なら寝たきりだよ。毎日歩いていたから足も早く治ったんだよ。」と言ってもらいました。これまでははたくさんしてきましたが、病気は全然したことがないんです。

みんなに言われる、所さんは幸せだなど

実 は食べ物嫌いな物がたくさんあります。刺身、牛乳、ハム、ソーセージなども嫌いなので食べません。何でも食べますではなく、その逆です。梅干し、唐辛子が大好きで、好きなものばかり食べています。前にテレビで、卵かけご飯がボケ防止に効果があると見たことがあって、ボケないように毎日、卵かけご飯を食べています（笑）

今 は困っていることは何もありません。けが以外の理由で病院には全然かからなかったし、風邪もひいたことがありません。この間、座布団も直したし雑巾も作っています。いまだに針の穴に糸も通せます。目が良いのもあるけど勘もあるのかな。みんな

ななたまげられます、畑もやっていたんだから。膝のけがをする前までは家の前の小さな畑でじゃがいもや里芋を作っていました。また畑にも行きたいけど、今年は膝のことがあるのでやれないかもしれませんね。痛くはないけど、またけがをしてしまったら困るから。けど、膝の様子をみて、また少しずつでも始めていきたいですね。



今プロフィール
所 よしさん（96歳・染井）
大正11年生まれ。
多古町内を歩き続ける元気人。

「多古元気人」では、年齢・性別・分野を問わず、生き生きと元気に活動している人を紹介していきます。これからもたこげんじんを発見したいときは、皆さんにご紹介します。